

2月 日本共産党県議団 県議会ニュース です

2月県議会(2/16~3/16)が開かれました。

ふじおか義英議員が一般質問を行いました(2月24日)。

一般質問と答弁の要旨を紹介します。



※ 真実はどこに 一大北森林組合補助金不正問題 ※

ふじおか議員 検証委の県職員延べ70人の聞取調査は誰が行ったのか。

総務部長 人事課、森林政策課、森林づくり推進課の職員が行い、延べ14人は検証委員が再調査を行った。

ふじおか議員 確認作業はどんな中身か。資料を求めてもA4ペーパー1枚だけで後は「適切に調べた」という口頭の説明だけ。第三者が適切か判断・分析できない。

阿部知事 もう一度振り出しに戻っての検証はあり得ない。

ふじおか議員 ある職員は対象作業道を「知らない」「通ったこともない」「雪で確認できない」と公判で証言したが本当か疑問だ。大峰キャンプ場線は、当時の担当職員は「知らない」と証言する一方で「キャンプ場で昼食を食べた」とも。通らないとキャンプ場には行けない。現地は「今年はいつもより雪が多い」という中でも、非四輪駆動車で問題なくたどり着けた。

林務部長 証言に検証結果と違いは生じていない。全くの架空申請はないと判断した。

ふじおか議員 1月から3月末までに追加事業は可能か。組合関係者は「1月から3月まで森林整備はほぼ不可能」。「期ずれでも構わないだろうと本庁から言われた」との証言もある。

林務部長 本庁と地方事務所の間で予算執行見込額を調整・管理しており、申請準備中や完了間近の事業など前倒し申請は可能。

ふじおか議員 判決後、押収された資料も戻る。再調査を客観的な第三者が行い、真相究明を求める。

※ 一刻も早い改善が居住者の切実な願いー県営住宅の住環境支援 ※

ふじおか議員 材質などの問題で「すぐ冷める風呂」が多く残されている。バスリフォーム事業に約3億7000万円(6団地213戸分)を盛り込んだことは歓迎するが、完了に7、8年かかる。対応の前倒しを求める。

建設部長 計画的な改修・修繕で、浴室の環境改善を着実に進めていく。

ふじおか議員 御代田町で建設予定だった県営団地の一部が更地のまま未利用地に。町は用地を買い取り宅地として利活用を望んでいるが。

建設部長 未利用地取得の意向は聞いている。検討手続を進め、活用方針を決定したい。

※ 小中学校給食一国の支援も求め給食費支援を ※

ふじおか議員 子どもの貧困など叫ばれる中、毎日の食に対する支援は重要だ。本県の給食費は都道府県で一番高く、1食あたりも全国で4番目に高い。市町村の給食費支援は大変喜ばれている。県は市町村の取り組みを支援すべきだ。

教育長 県教委は給食の質の向上、衛生管理の徹底、食に対する指導充実を図っている。

ふじおか議員 県は地元食材の給食への活用を促進する取り組みを検討していると聞く。助成をセットで復活をしたらどうか。

農政部長 助成制度は役割が果たされたため終了した。一次加工業者と給食センターのマッチングなど取り組んでいく。

質問を終えて **ふじおか義英**
「検証委員会の主体は県だし、再確認作業に至っては県の内部調査。一連の調査が適切だったのか疑問は払しょくされず。追及を強めます！」